

「医理工連携コース」教育プログラムの紹介！

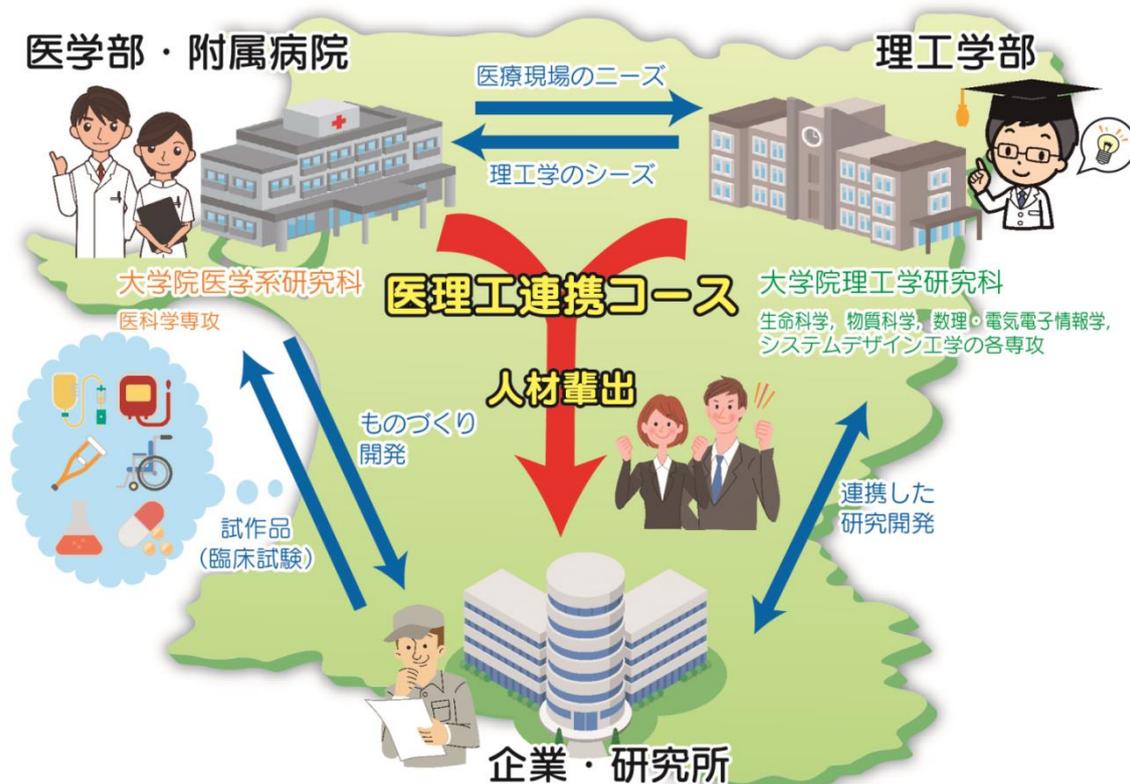
このプログラムは秋田大学大学院医学系研究科医科学専攻と秋田大学大学院理工学研究科が連携しておこなうものです。“医理工連携コース（教育プログラム）”の概要を紹介します。

医理工連携コースとは

高齢化の進展と新興国における医療需要拡大を受け、医療機器の世界市場は約8%の成長率を維持しています。しかしその中で日本の医療機器市場は輸入超過が続いています。これらの問題を解決するため、政府は成長戦略の一つとして「国民の『健康寿命』の延伸」を掲げています。そして、医工連携による医療機器開発を促進するための研究開発を支援し、医療機器の承認審査の迅速化に向けた取り組みや、研究開発人材の育成を行う事業を開始しています。一方、秋田大学は、秋田県と医工連携プロジェクトを遂行し、その研究成果を製品化して世の中に送り出してきました。

このような背景により、秋田大学は「医理工連携」をこれからの看板の一つとして掲げ、この分野の研究・開発や人材育成に力を入れることにしました。また、地域貢献をさらに推進するため、秋田県内の医療福祉分野の産学官連携を強化し、新しい機器の研究開発から製造までを行う体制を作りたいと考えております。これは、単に医療機器の製品化のみならず、地域における安定した雇用創出にもつながると考えられます。

医理工連携コースは、秋田県唯一の医学部と、新しいモノづくり・コトづくりを目指す理工学部の双方の橋渡しをする大学院教育プログラムであり、新しい医療機器の研究開発に加え、秋田県の発展に貢献できる人材を輩出することを目指しています。医理工連携コースが養成する人材像は、次のとおりです。『医学と理工学、双方の言葉を理解でき、医療現場のニーズを把握してその解決に取り組み、地域医療の発展と産業創出、ひいては日本国民のQOL向上に貢献する研究者、技術者、コーディネータとして活躍できる人材を育成する。』 我こそはと思う方は、ぜひコース生となり、学んでください。



医理工連携コースの履修内容

本教育プログラムを受けるには、医学系研究科医科学専攻の修士課程または理工学研究科の博士前期課程（共同ライフサイクルデザイン工学専攻を除く）に入学している必要があり、修了要件は下記の(1)～(3)の科目より8単位以上を修得することです。なお、定員は各研究科とも若干名です。

(1) 必修科目は、全ての科目を履修する必要があり、①～③の3科目があります。

なお、①は各研究科の修了要件30単位以上にも含めることができます。

①医理工連携実践論（1単位）は、医理工連携により生み出された最新の研究成果をオムニバス形式で行う講義です。

②知的財産論（1単位）は、新しい研究開発に欠かせない特許等の知的財産について学ぶものです。理工学研究科の修了要件30単位以上にも含めることができます。

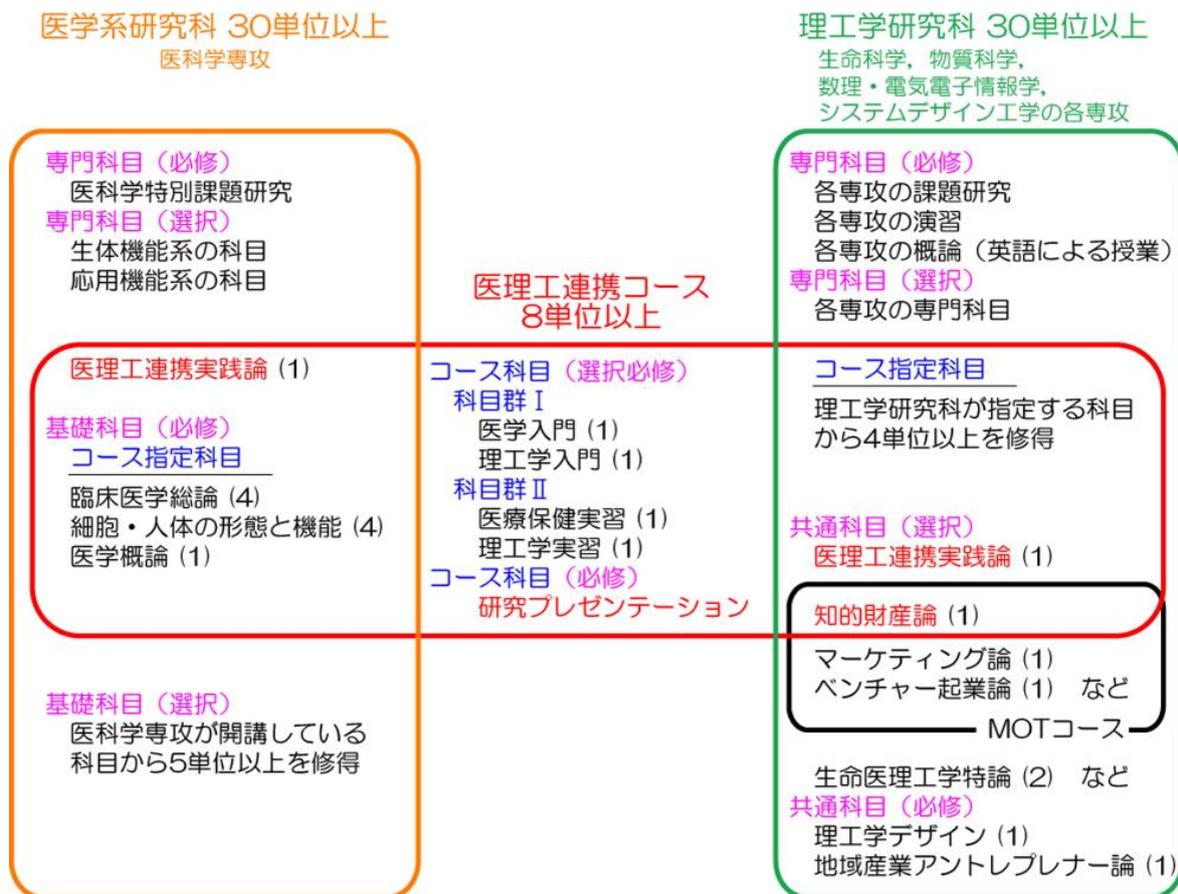
③研究プレゼンテーションは単位なし科目であり、修士論文にまとめる研究内容を、より充実したものとするため、医学と理工学と一緒に研究を行うグループの中で意見交換をするための科目です。

(2) 選択必修科目は、本コース生のみに関講される科目であり、科目群ⅠとⅡがあります。

科目群Ⅰ：医学の基礎を学ぶ医学入門（1単位）、理工学の基礎を学ぶ理工学入門（1単位）があり、1単位以上を修得する必要があります。

科目群Ⅱ：医療現場の中で実習する医療保健実習（1単位）、理工学に関する実験実習を行う理工学実習（1単位）があり、1単位以上を修得する必要があります。

(3) コース指定科目は、より幅広い知識を身に付けるためのものです。医学系研究科が指定する科目から4単位以上を修得する必要があり、本単位は各研究科の修了要件にも含めることができます。



※ MOTコース：技術経営と呼ばれるMOT（Management of Technology）は、理工学研究科の学生や社会人が履修することができる教育プログラムです。

問い合わせ先

秋田大学大学院医学系研究科・医学部学務課 大学院担当

〒010-8543 秋田市本道1丁目1の1

電話：018-884-6032 FAX：018-836-9845